



IDF PRESS RELEASE

Belfast, 1st November 2017

IDFプレスリリース

2017年11月1日、ベルファスト発

新興市場で酪農乳業の成長は持続する

酪農乳業の指導者は本日、酪農乳業は世界の新興市場全体で堂々の成長を継続している、と語った

IDFワールドデーリーサミット2017ベルファストで酪農乳業界のリーダーは、新興市場、特にアジア、アフリカおよびラテンアメリカにおいて酪農乳業の将来は明るいと明確に述べた。

東アジアの経済的な力強さは、世界の酪農乳業界に莫大な成長のオポチュニティを与え続けている。

アイルランドとの国境の両側で事業展開するレークランド・デーリーLakeland Dairies社グループ最高責任者マイケル・ハンリーMichael Hanley氏は、「我が社の売り上げのかなりの部分は80か国以上に輸出する200品目以上の商品輸出から生まれています。世界の新興市場に対する乳製品輸出事業にオポチュニティがあります。」と語った。



「2050年までには、4人のうち3人までがアフリカまたはアジアに住むでしょう。先進国市場の酪農乳業会社が、新興市場で消費者の食事において乳および乳製品が不可欠な食材であり続けるために、これらの新興市場での基盤作りに時間と資源を投入することが重要です。」

南米の酪農乳業は独自性を発揮して成長の機会を伺っていると述べた。

戦略農業顧問会社クアルテラ Quatterra 社代表モニカ・ガンリー Monica Ganley 氏は、

「南米の酪農乳業界は現在も未来も十分な潜在能力がいつもあるという見方が長いあいだ支配的でした。個人的には、この見方は間違っていると思います。

この活発で急速に発展している市場では乳業会社には儲かる機会が既に存在しているからです。」



「この地域では国境を跨ぐM&A（合併統合）活動が活発化していることから業界の将来は明るいと言えます。政治的にも経済的にも、南米は転機に差し掛かっています。最近みられた酪農乳業の高い成長は業界のわくわくする旅路の始まりです。」

IDF会長でデーリーUK最高経営責任者ジュディス・ブライアンス氏は、「アジア、アフリカおよびラテンアメリカは乳製品に最大の成長市場を体現しています。これらの重要な市場に栄養価と持続可能性が高い乳製品を提供する努力が求められます。」と語った。

翻訳：J I D F事務局

編者注: 仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。